

平成 29 年度事業計画

I 基本方針

公益財団法人として名古屋市の産業振興に寄与するため、中小企業のニーズを的確に捉え、名古屋市と密接に連携し各種支援事業を実施する。

先端技術の研究開発支援、産業応用のため、プラズマ技術産業応用センターにおいて、プラズマに係る技術支援等を行うとともに、国等の資金を活用しつつ産学行政の連携した共同研究・研究開発を行う。

新事業支援センターにおいては、小規模事業者をはじめとした、中小企業の経営を支援するため、窓口相談、中小企業診断士等の専門家派遣を行うほか、小規模企業専門の経営アドバイザーが訪問支援を行い、課題解決に取り組む中小企業に情報収集や交流の機会を提供するとともに、産学行政及び金融機関の連携による伴走型支援を行う。また、最近増加傾向にある女性の創業者をはじめ、創業を志す起業家等を積極的に支援するため、新たな創業・経営アドバイザーを設置する。

さらに、名古屋ビジネスインキュベータ等の創業支援施設を管理運営し、入居企業に効果的な支援を行う。

このほか、中小企業におけるものづくり人材の育成、技術・技能の継承の支援、当地域におけるものづくり技術の集積を生かした産業見本市の共同開催や「TECH Biz EXPO」での賛助員コーナー等の設置、賛助員企業の情報発信の拡充などに取り組む。

産業振興施設については、名古屋市中小企業振興会館、名古屋市国際展示場、デザインホールの3施設が連携して一層の利用促進を図り、利用者ニーズにきめ細かく対応しながら、より効果的な管理運営を行うほか、次期指定管理者に選定されるよう取り組む。

II 事業計画

【公益目的事業の実施】

1	先端技術研究開発推進事業	予算額	57,854 千円
---	--------------	-----	-----------

なごやサイエンスパーク内の研究開発センターを地域の研究機関に提供し、産業応用を見据えた先端技術の研究開発を支援する。

2	プラズマ技術産業応用支援事業	予算額	54,901 千円
---	----------------	-----	-----------

プラズマ技術産業応用センターにおいて、「プラズマが拓くものづくり研究会（PLAM）」の会員をはじめ、プラズマ技術の産業応用に関心のある企業に対して、技術相談や可能性トライアルによるテスト処理・分析を実施し、プラズマに係る技術支援を行うとともに、名古屋市工業研究所始め地域の研究機関と連携して地域企業の振興に取り組む。

また、最新のプラズマ技術及び産業応用事例をテーマにした講演会や情報交換会等を開催して、プラズマ技術全般に関する情報提供を行う。

さらに、賛助員支援事業として、賛助員無料半日トライアルを行い、プラズマ技術の応用範囲を広げる。

3	共同研究事業	予算額	22,072 千円
---	--------	-----	-----------

国立研究開発法人科学技術振興機構が事業実施機関として行うスーパークラスタープログラム（研究成果展開事業）の参画機関として、大気圧プラズマ装置の高機能化などの研究開発を実施する。

また、大学、公的研究機関、中小企業等と連携し、経済産業省の補助事業である「戦略的基盤技術高度化支援事業」を始めとする国等の提案公募型研究開発事業の新規採択を目指す。

4	研究開発促進事業	予算額	31,537 千円
---	----------	-----	-----------

「環境・エネルギー課題解決産業」などの重点産業分野に係る先端技術について、技術情報の交換や課題解決を目的とした研究会を開催・運営し、産学行政連携による共同研究の実現、実用化・事業化をコーディネートするほか、なごやサイエンスパークに立地する研究機関相互の交流を図り、研究開発を促進する。

また、医療介護に関する機器・ロボットの開発及び普及を促進するため、産学行政、病院、介護施設等の連携による研究会を開催し、参入企業とのマッチングを支援する。

5	新事業創出支援事業	予算額	159,953 千円
---	-----------	-----	------------

(1) 相談、専門家派遣、創業研修事業等

中小企業経営、創業・新事業のほか、BCP（事業継続計画）の策定を支援するため、中小企業診断士等の資格を有するマネージャーが窓口相談を行うとともに、民間の専門家を登録し中小企業への派遣を行う。

とくに、小規模企業経営力強化支援事業として、専門の経営アドバイザーを置き、依然として厳しい経営環境にある小規模企業を対象に、訪問による各種相談を行う。また、国の「働き方改革の推進」をうけ女性の活躍を促進するため、創業・経営アドバイザーを置き、女性起業家支援をはじめとした創業・経営相談を行う。

さらに、創業支援セミナーを実施することにより、創業に役立つ知識を提供するとともに、創業に向けた意識・意欲の向上を図る。

(2) ビジネスマッチング事業

金融機関、大学、研究機関等との連携を強化し、課題解決に取り組む中小企業に情報収集、金融機関や研究機関等との交流の機会を提供する中小企業支援フォローアップ強化事業を実施するとともに、各機関が連携した伴走型支援を行う。

また、引き続き見本市・展示会への出展支援等を行うことにより、ビジネスパートナーとのマッチングを支援する。

(3) 創業支援施設の入居企業への支援

名古屋ビジネスインキュベータ金山、名古屋ビジネスインキュベータ白金、名古屋医工連携インキュベータの入居企業に対し、インキュベーションマネージャー及び経営・技術等の各専門分野のマネージャー間で連携を図りつつ、総合的な創業・新事業支援や販路拡大支援を行う。

6	普及啓発・情報提供事業	予算額	134,961千円
---	-------------	-----	-----------

市民の科学技術に対する理解と関心を深めるため、研究施設の公開や成果の紹介等を行うなごやサイエンスひろばを開催するほか、ファッション情報の収集・提供、コンテスト、セミナー等によりファッション産業の振興とファッション風土づくりの推進を図る。

また、異業種交流による技術、市場に関する情報交換を図るとともに、産業技術に関する図書、雑誌等を提供する。

さらに、見本市・展示会の開催支援として、「第20回国際福祉健康産業展 ウェルフェア 2017」、「第5回中部ライフガード TEC 2017～防災・減災・危機管理展～」、「建設技術フェア 2017 in 中部」、「第7回次世代ものづくり基盤技術産業展 TECH Biz EXPO 2017」に加え、新たに、「ロボカップ 2017 名古屋世界大会併催 ロボット技術・産業フェア」、「熊本地震復興支援 強靱な社会基盤の復興・整備に寄与する先進建設技術フェア in 熊本」及び「熊本地震復興支援 九州ライフガード TEC 防災・減災・危機管理展」を関係団体と共同で開催するとともに、共催や後援、出展による参加など様々な手法で、当地域におけるものづくり技術の集積を生かした産業見本市を支援する。

また、7月に開催される「ロボカップ 2017 名古屋世界大会」の開催委員会へ職員を派遣し、最新のロボット技術の情報提供等を支援する。

7	産業人材育成事業	予算額	31,700千円
---	----------	-----	----------

工業技術に関する教育訓練、研修、講座等を開催することにより、従業員の技術及び技能の向上を図り、中小企業におけるものづくり人材の育成、技術・技能の継承を支援する。さらに、経営の視点から技術戦略を検討する人材育成にも取り組む。

8	工業技術情報提供事業	予算額	9,187千円
---	------------	-----	---------

中小企業における工業技術力の向上を図るため、工業技術に関する指導及び相談を行うとともに、講演会、先進工場見学会の開催、情報誌の発行等により、工業技術に関する情報提供を行う。

また、賛助員支援事業として、賛助員企業の技術・製品等を広くPRするため、商品展示・カタログ展示、TECH Biz EXPO 2017 賛助員コーナーの設置に加え、公社ホームページでの賛助員の企業情報発信機能を強化する。

9	経済交流・誘致促進事業	予算額	8,177千円
---	-------------	-----	---------

名古屋市を始めとする関係機関と連携し、情報提供等を行うことにより、外資系企業の誘致を促進するほか、新規の進出有望企業の発掘のため、国際見本市や展示会等の出展参加企業を訪問し、当地域への誘致を図る。

10	関係団体事務受託事業	予算額	3,230千円
----	------------	-----	---------

企業や研究者を会員とする産業技術関係団体が行う研究・技術の交流事業等を支援するため、当該団体からの受託事務を行う。

11	産業振興施設の管理運営	予算額	1,274,116千円
----	-------------	-----	-------------

(1) 名古屋市中小企業振興会館

中小企業の振興及び産業貿易の促進並びに市民福祉の向上を図るため設置された名古屋市中小企業振興会館について、指定管理者として管理運営を行う。

(2) 名古屋市国際展示場（ポートメッセなごや）

産業貿易の振興及び国際経済交流の促進並びに市民福祉の向上に資するため設置された名古屋市国際展示場について、指定管理者として管理運営を行う。

(3) デザインホール

都心で小規模な多目的ホールを安価で提供し、地域の産業振興を図るため、デザインホールの管理運営を行う。

(4) 名古屋ビジネスインキュベータ

ソフトウェアやシステムの開発設計を行う中小企業などを育成、支援するため、創業支援施設である名古屋ビジネスインキュベータ金山（nabi/金山）、名古屋ビジネスインキュベータ白金（nabi/白金）の管理運営を行う。

(5) サイエンス交流プラザ

先端的産業分野における新技術・新製品開発を促進するため、サイエンス交流プラザの管理運営を行う。

【収益事業の実施】

1	施設管理附帯事業	予算額	82,257 千円
---	----------	-----	-----------

名古屋市中小企業振興会館及び名古屋市国際展示場の施設管理運営に附帯する備品の貸出業務等を行うほか、両館で開催されるイベント案内を掲載したイベントカレンダーの印刷を行う。

2	吹上及び吹上中央帯駐車場の管理運営	予算額	81,837 千円
---	-------------------	-----	-----------

名古屋市中小企業振興会館に隣接する名古屋市道路附属物自動車駐車場である吹上及び吹上中央帯駐車場について、指定管理者として管理運営を行う。